

フレキシブル透明電極の作製と タッチパネルの応用

<研究概要>

透明電極（透明導電膜）は、可視光に対して透明で、電気の流れるものです。液晶テレビやスマートフォンの表面のガラスの裏に塗られています。スマートフォンの普及により、低コスト化が急務になっています。

透明電極の材料には、レアメタルのインジウムが使われていて、さらに真空を用いて作製されるのでとても高価です。そこで、インジウムを使用せず、亜鉛を用いて、真空を用いない作製方法を世界で初めて開発しました（特許取得）。

近年、軽量化が進み、ガラス上でなくプラスチック上に作製する研究を行っています。

ここがポイント！

タッチパネルと違って、太陽光パネルは、可視光だけでなく赤外線に対しても透明でないといけません。



フレキシブル透明電極



宮崎日日新聞
(2010年3月28日掲載)